

宮古盛岡横断道路の環境改善に向けた官民合同現地調査

煙突山トンネル

茂市トンネル

令和6年9月26日

岩手県沿岸広域振興局土木部
宮古土木センター

宮古西大橋

新区界トンネル

宮古盛岡横断道路の整備状況

- 宮古盛岡横断道路は、東日本大震災津波からの**復興支援道路**として国及び岩手県が整備。
- 岩手県が管理する**唯一の自動車専用道路**※であり、令和2年度末までに約52kmが開通し約20kmの距離短縮及び約35分の時間短縮が図られたところ。 ※ 築川道路等一部区間を除く
- 自動車専用道路と一般道路が混在**(自動車専用道路：約42km・一般道路：約35km)しており、開通後(令和3年度～令和5年度)の**死傷事故の約9割は一般道路**で発生。

位置図



死傷事故発生状況

発生年度	自動車専用道路	一般道路	合計	備考
令和3年度	1件	5件	6件	
令和4年度	1件	4件	5件	死亡事故1件(一般道路)
令和5年度	1件	9件	10件	死亡事故1件(一般道路)
合計	3件	18件	21件	
発生割合	14.3%	85.7%	-	

- 【凡例】
- ★ : 死亡事故
 - ★ : 負傷事故

出典：岩手県警察ホームページ

- 宮古土木センターでは、令和6年7月に宮古盛岡横断道路の利用状況、課題等に関する道路利用者へのヒアリングを実施。
- 道路利用者からは、通行をゆずることができる待避所等の整備に係る要望が多数。
- これを踏まえ、宮古盛岡横断道路の環境改善に向けた官民合同の現地調査を実施。

【ヒアリング時の道路利用者からの主な意見】

- 宮古盛岡横断道路は走行速度が速く、自動車専用道路と一般道路が混在しているため運転していて怖い道路。後続車に通行をゆずりたくてもゆずれる場所が少ない。
- 狭い待避所は大型車が利用することは難しい。大型車の利用には広い待避所が必要。
- 定時性を確保する観点からも、低速度車等が通行をゆずりやすい道路にして欲しい。
- 宮古盛岡横断道路は走行速度が速いため、待避所の利用が難しい。待避所の予告標識があれば、通行をゆずる車も増えるのではないか。

宮古盛岡横断道路の環境改善に向けた官民合同現地調査

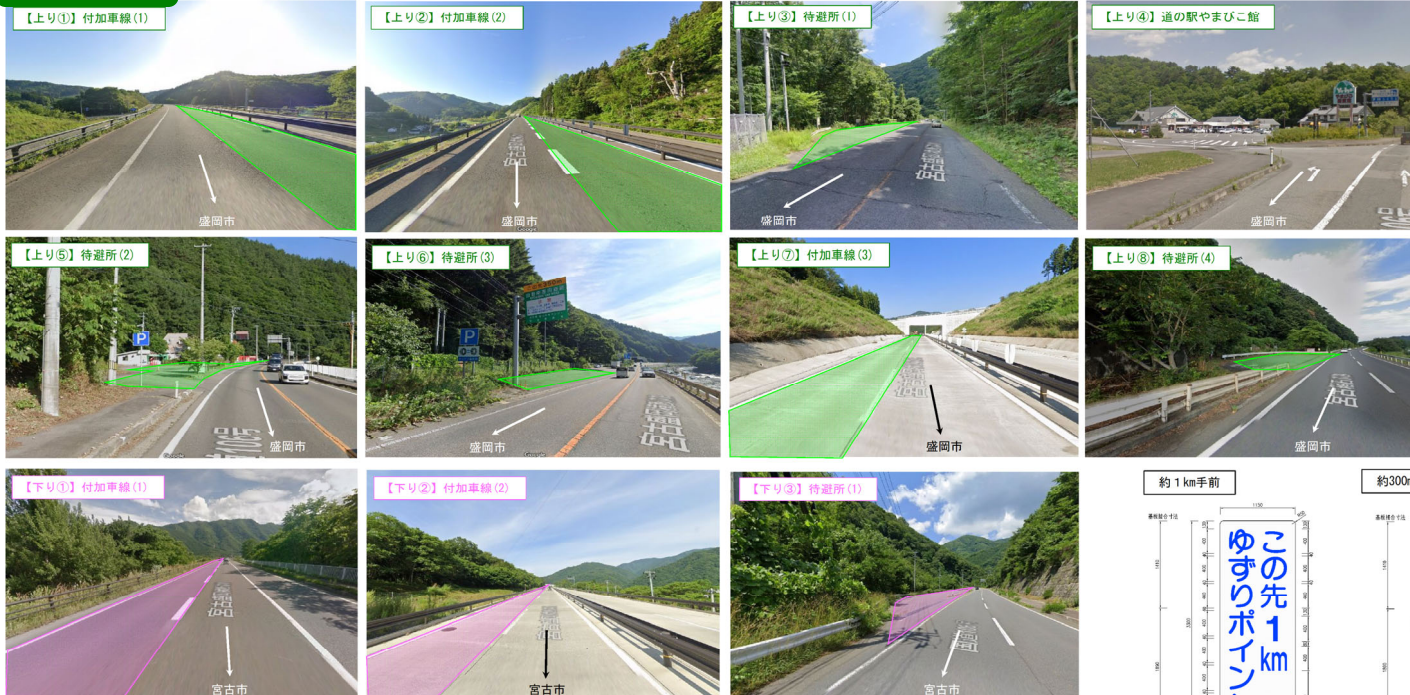
- 日 時：令和6年9月26日（木）10時～12時（予定）
- 参加者：明日を拓く宮古のみち女性の会
公益社団法人岩手県トラック協会宮古支部
岩手県北自動車株式会社宮古営業所（岩手県北バス）
宮古警察署、宮古市、宮古土木センター

宮古盛岡横断道路の環境改善に向けた取組

位置図



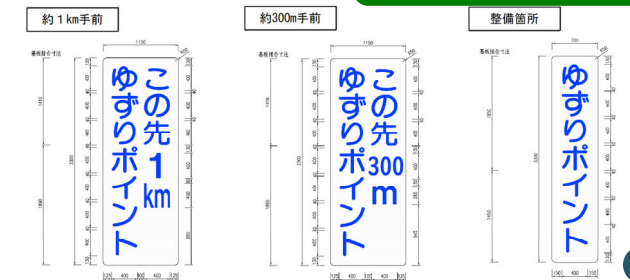
写真



ゆずり可能箇所の整備状況

整備状況	ゆずり可能箇所			最長区間距離
	付加車線	待避所等	合計	
上り線 (盛岡市→宮古市)	3箇所	5箇所	8箇所	21.2km
下り線 (宮古市→盛岡市)	2箇所	1箇所	3箇所	35.5km
ゆずり可能箇所数	5箇所	6箇所	11箇所	-

ゆずり可能箇所(待避所)の案内標識



写真引用：Google 地図データ ©2024